

健康イベントについて

全体として満足度が高い！！(回答者8人中7人)

満足だった理由

- 天候に恵まれた
- 幅広い年齢層に楽しんでもらえた
- 全員で盛り上げた
- 全体的にどの内容も良かった

改善できるなら・・・

- 道路の見守り
- ウォーキングコース

コースの見直し、事故防止のための工夫が必要 等

改善のためには、プレウォークも必要

次年度に向けての工夫・要望

- 催し物をたくさんしたい
- 短い距離のコースの設定
- センター内のブースのみの参加も可能に
- 参加者が一体感を感じられるイベント

「周知」が課題・・・

- 広報や回覧板の活用
- 各委員から直接声かけ
- 地域の団体へ呼びかけ
- イベント継続が周知につながるのでは

こども園、小学校でこどもたちへ直接周知したことが効果的だった！

まちなか保健室・巡回相談について

まちなか保健室の利用はあるが巡回相談は少ない・・・

まちなか保健室

まち協委員の利用は6人(回答者8人)
⇒うち5人が「満足」と回答しており、満足度が高い！

利用した理由は？

- 健康について相談したいことがあった
- 近くに健康について相談できるところがない
- 保健師を身近な相談相手と思っている



健康は自分で管理するもの
現在の健康状態を知る機会

相談の機会としてだけでなく幅広く活用されている！

巡回相談

まち協委員の利用は1人とどまっている(回答者8人)

利用しない理由は？

- 特に相談したいことはない
- 家に来られるのは負担
- 予約の電話が面倒



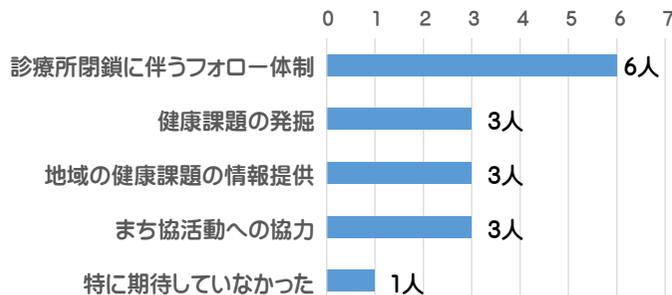
楽しみながらもっと気軽に利用できるように！

- 番付スタンプラリーの実施
- 地区の集まりの場に参加

保健所への期待

診療所閉鎖後に伴うフォロー体制が最多(回答者8人中6人)

保健所に期待していた役割



まちなか保健室の運用だけでなく、地域の健康課題の共有など「健康づくり全般」のサポートが必要。

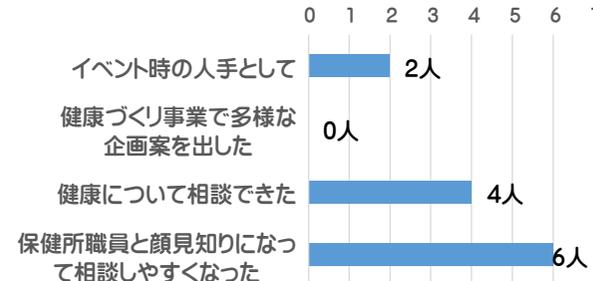
診療所の閉鎖により、医療機関がなくなったことは、西神楽地域には大きな課題・・・



保健所の活動への評価

繋がりができ、相談しやすくなったとの意見が多数

一緒に活動し有益だったこと



まち協の活動をサポートする役割としても満足度が高い！(8人中7人が「満足」、1人が「多すぎる」)

その理由として・・・

- 保健所職員とコミュニケーションが図られる
- 行政とのつながりができる



集まりに出向くことやイベント等を通して顔をつなぎ、相談しやすい関係づくりをしていくことが重要。